

温水・暖房契約

(選択約款)

平成29年7月1日実施

栃木ガス株式会社

目 次

1. 目 的	3
2. 用語の定義	3
3. 適用条件	3
4. 契約の締結	3
5. 使用量の算定	4
6. 料 金	4
7. 単位料金の調整	4
8. 設置について	5
9. その他	5
1. 適用区分	5
2. 料金及び消費税等相当額の算定方法	6
3. 料金表（消費税相当額を含みます。）	7

1. 目 的

この選択約款は、温水式暖房の普及を通じ当社の供給設備の効率的利用を図り、もって合理的・経済的なガス需給の確立に資することを目的といたします。

2. 用語の定義

この約款において使用する用語の定義は、次のとおりといたします。

- (1) 「調理機器」とは、エネルギー源としてガスを使用する調理用の機器をいいます。
- (2) 「温水機器」とは、エネルギー源としてガスを使用し、温水を作る機能を有する燃焼機器をいいます。
- (3) 「暖房機器」とは、エネルギー源としてガスを使用し、暖房を行う機能を有する燃焼器もしくは、放射熱を複数接続する機能を有する熱源機により、居室および浴室に設置した放射器に温水を供給して暖房を行うシステムをいいます。
- (4) 「居室」とは住居を目的のために継続的に使用する室等をいいます。
- (5) 「浴室」とは入浴のために使用する室をいいます。
- (6) 「適用期間外」とは5月分から11月使用分（4月検針日の翌日から11月検針日まで）をいい、「適用期間」とは12月分から4月分（11月検針日の翌日から4月検針日まで）をいいます。
- (7) 「消費税等相当額」とは、消費税法の規定により課税される消費税および地方消費税法の規定により課税される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果1円未満の端数が生じた場合には、その端数を切り捨てます。
- (8) 「消費税率」… 消費税法の規定に基づく税率に地方税法の規定に基づく税率を加えた値をいいます。なお、この選択約款においては8%といたします。

3. 適用条件

暖房機器を使用し、併せて厨房機器、温水機器を使用する需要家で、お客さまがこの選択約款の適用を希望される場合に適用いたします。

4. 契約の締結

- (1) 使用者は、この選択約款を承諾のうえ、当社所定の申込書により使用を申し込んでいただきます。
- (2) 契約期間は次のとおりといたします。
 - ① 新たにガスの使用を開始した場合は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12か月目の月の定例検針日までといたします。
 - ② ガス小売供給約款に定める契約（以下「一般契約」といいます。）または他の選択約款からこの選択約款へ変更した場合は、この選択約款の契約期間は、申込日の直後の定例検針日翌日から直後の定例検針日を起算月として12か月目の月の定例検針日までといたします。なお、変更前の契約の契約期間は、この選択約款への申込日の直後の定例検針日までといたします。
 - ③ 契約期間満了に先立って解約または変更の申込みがない場合は、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の定例検針日まで同一条件で継続するものとし、以降も同様といたします。
- (3) 当社は、この選択約款の契約期間満了前に解約または一般契約への変更をされたお客さまが、同一需要場所でこの選択約款または他の選択約款の申し込みをされた場合、その適用開始の希望日が契約の解約の日または一般契約の変更の日から1年に満たない場合には、その

申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更または建物の改築等のために一時不使用による解約の場合はこの限りではありません（(4)において同じ）。

(4) 当社は、お客さまがこの選択約款の契約期間満了前に他の選択約款への変更を申し込みされた場合には、申し込みを承諾しないことがあります。

(5) 当社は、お客さまが当社とのこの選択約款、一般契約または他の選択約款に基づく料金を、一般契約に規定する支払期限日を経過しても支払われない場合は、申込みを承諾できないことがあります。

5. 使用量の算定

各月使用分の使用量は、前月の検針日および当該月の検針日におけるガスメーターの読みにより算定いたします。

ただし、当該月の検針日以降、当該月内に解約を行った場合には、当該月の検針日および解約を行った日のガスメーターの読みにより算定いたします。

6. 料 金

(1) 当社は、料金の支払いが、支払義務発生の日の翌日から起算して20日以内（以下「早収期間」といいます。）に行われる場合には、早収料金（消費税等相当額を含みます。）を、早収期間経過後に支払いが行われる場合には、早収料金を3パーセント増ししたものを（以下「遅収料金」といい消費税等相当額を含みます。）を料金として支払っていただきます。なお、早収期間の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早収期間を延長いたします。

(2) 当社は、別表の料金表（料金表の基本料金、単位料金を用います。）を適用して、早収料金または遅収料金を算定いたします。その他の期間にはガス小売供給約款の料金表を適用して、早収料金または遅収料金を算定いたします。

7. 単位料金の調整

(1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回りまたは下回る場合は、次の算式により別表の各料金表の基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して早収料金を算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表2(3)のとおりといたします。

① 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金（1立方メートルあたり）

$$= \text{基準単位料金} + 0.080 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

② 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金（1立方メートルあたり）

$$= \text{基準単位料金} - 0.080 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

(備 考)

上記①、②の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨て。

(2)(1)に規定する基準平均原料価格、平均原料価格、及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格（トンあたり）

73,010円

② 平均原料価格（トンあたり）

別表2（3）に定められた各3か月における貿易統計の数量および価額から算定したトンあたりLNG平均価格およびトン当たりLPG平均価格の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。

ただし、その金額が116,820円以上となった場合は、116,820円といたします。

（算式）

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{トンあたりLNG平均価格} \times 0.9604 \\ &+ \text{トン当たりLPG平均価格} \times 0.0393 \end{aligned}$$

（備考）

トン当たりLNG平均価格およびトン当たりLPG平均価格は、当社の店頭に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

（算式）

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{原料価格変動額} = \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格}$$

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

$$\text{原料価格変動額} = \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格}$$

8. 設置について

- (1) 当社は、温水暖房が設置されているかどうかを確認させていただく場合があります。この場合には、適当な事由がない限り、住宅への立ち入りを承諾していただきます。
- (2) 温水暖房を取り外した場合は、ただちにその旨を当社へ連絡していただきます。なお、温水暖房を取り外した場合は、この選択約款に基づく契約を解約したものとみなします。

9. その他

その他の事項については、ガス小売供給約款を適用いたします。

付 則

1. 実施の期日

この選択約款は、平成29年7月1日から実施いたします。

2. 本選択約款の実施に伴う切り替え措置

この選択約款実施の前日にすでに選択約款の家庭用温水・暖房契約の契約が成立している場合には、平成29年7月1日以降も、ガス基本約款およびこの選択約款をあわせて適用します。

(別 表)

1. 適用区分

- (1) 料金表A 1か月使用量が0立方メートルから25立方メートルまでの場合に適用いたします。
- (2) 料金表B 1か月使用量が25立方メートルを超え、60立方メートルまでの場合に適用いたします。
- (3) 料金表C 1か月使用量が60立方メートルを超える場合に適用いたします。)

2. 料金及び消費税等相当額の算定方法

- (1) 早収料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
- (2) 従量料金は、基準単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
- (3) 調整単位料金の適用基準は次のとおりといたします。
 - ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日(うるう年は2月29日)に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの半期の平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

(4) 早収料金及び遅収料金に含まれる消費税等相当額はそれぞれ次の算式により算定いたします。
(小数点以下の端数切り捨て)

① 早収料金に含まれる消費税等相当額＝早収料金×消費税率÷(1+消費税率)

② 遅収料金に含まれる消費税等相当額＝遅収料金×消費税率÷(1+消費税率)

3. 料金表 (消費税相当額を含みます。)

[適用期間内]

1. 料金表A

(1) 基本料金

1か月及びガスメーター1個につき	1,366.25円
------------------	-----------

(2) 基準単位料金

1立方メートルにつき	160.92円
------------	---------

(3) 調整単位料金

(2)の各基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートルあたりの単位料金といたします。

2. 料金表B

(1) 基本料金

1か月及びガスメーター1個につき	1,565.35円
------------------	-----------

(2) 基準単位料金

1立方メートルにつき	152.89円
------------	---------

(3) 調整単位料金

(2)の各基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートルあたりの単位料金といたします。

3. 料金表C

(1) 基本料金

1か月及びガスメーター1個につき	2,022.69円
------------------	-----------

(2) 基準単位料金

1立方メートルにつき	145.28円
------------	---------

(3) 調整単位料金

(2)の各基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートルあたりの単位料金といたします。

[適用期間外]

適用期間外については、ガス小売供給約款の料金表に基づき料金を算定いたします。